

# 広報 ふじかわ

3 月 号

昭和49年 3 月 1 日発行

No. 160

## 町 の メ モ

49年2月1日現在

人 口	15,896人
増 減	先月より +11人
男	7,867人
女	8,029人
世帯数	3,770世帯
面 積	31.09km <sup>2</sup>

富士川町 企画課



## 歌 っ て 踊 っ て

### 一日を楽しむ まきの木教室

歌って踊って勉強して、今年も楽しく元気に生活しよう——とまきの木教室はおそまきながら新年会を一月二十九日、老人福祉センターで行ないました。

七十八人の老人たちは「あなたのリードで私も学ぶ」などと、芸者ワルツをかえ歌にした「老人ワルツ」や、思い出の軍歌を唄ったり、踊ったり。詩吟など普段クラブで習っているものや隠し芸を披露し合い、テーブルに並べられたごちそうを食べながら、飲んでさわいであつた一日を過ごしました。

同席した中川町長や望月婦人会長らは、同教室の盛況ぶりを感じているようでした。

国家的に老人福祉が叫ばれている現在、家族みんなが老人に励みを持たせ、希望のある幸福な生活を与えていただきたいと思えます。

# 青少年野外センター

## 9月に完成予定

由比町の景勝地に

静清庵広域圏の目玉事業

青少年に自然の中での研修の場

を、と静清庵地区広域市町村圏協議会長（荻野準平静岡市長）は、由比町の山間部に建設計画していた、同協議会の目玉事業である、「青少年野外センター」の起工式を二月二日、二市三町長、原県議市政議会、関係者ら約百人を集めて現地で行ないました。

同センターは、ハイキングコースである由比町の浜石岳（標高七百七十㍎）の直下、三本松台地に建設されるもので、広さ約二万三

千平方㍎です。

三保の松原から駿河湾、伊豆半島を一望のもとに見渡せ、富士山を真正面に仰ぎみる景勝地。国道一号线から車で二十分。浜石岳まではハイキングコースで約四十分の絶好の場所です。

施設は、百二十人収容できる鉄骨平屋建ての宿泊棟。三十人収容の研修棟。完全な共同生活ができる炊事棟二カ所。便所が建てられます。



くわ入れをする荻野静岡市長



青少年野外センター予定地

このほかに、三十のテントが張れ、百五十人収容できる山小屋宿泊キャンプ場。自然を生かした植物園。スポーツ広場。集合広場などが造成されます。飲料水はポンプで揚水し、遊歩道も順次計画する予定です。

工事は総事業費一億三千万円で四十八、四十九年の二カ年継続事業として行なわれ、今年の九月には完成する予定です。すでに、茨原台地から三本松台地まで延長した道路（延長千六百㍎、幅員三・六㍎）はほぼ完成しています。

当日の起工式には、地元の小牧由比町長が経過報告、荻野静岡市長らがくわ入れの儀などを行なった工事の安全を祈りました。

一日一円の掛金  
傷害保険に加入しよう

昭和四十九年度町民交通傷害保険は、区長さんを通じて加入者を受け付けています（保険加入期間四十九年四月一日から一年間）

加入申込書を二月下旬ごろ全世界に配布しましたので、所定の事項を記入のうえ三月十日までに区長さんに提出してください。

生活保護世帯は、町で負担しますので申込みの必要はありません。

この保険金は、一人年間三百六十円（昨年は四百八十円）。当町に住んでいる人なら、どんなにでも加入できます。

車両に乗っていて衝突したりつい落した事故。歩いていて車両にはねられたり、ひかれたりしてケガをした場合に保険金が支払れます。

加入者が事故にあったときはすぐに役場企画課に連絡してください。

支払れる保険金は、次のように十段階に分かれています。

- ①死亡（事故にあった日から百八十日以内） 五十万円
- ②失明、片手または片足を失なったとき（事故にあった日か

## 無計画な乱掘は

## 災害を招く

砂利採取か、自然保護か問われている松野地区山間部一帯を、町は、山砂利採取基本計画を作成するため、土木コンサルタント「グランドリサーチ社」に同地域の科学調査を依頼していたところ、二月二十日にその最終報告書が提出され、調査の結果「砂利採取を進めれば、生活用水の枯渇や水質汚濁による飲料水、農業用水の確保は困難。また、乱掘は鉄砲水や土石流の危険を招く恐れがある」とことが明らかになりました。町ではこの調査資料を基に、地域住民に与える影響を考慮した採掘を検討して、問題に対処する方針です。

など調査するため、グランドリサーチ（塩坂邦雄社長）に依頼していました。この最終報告によると、埋蔵量は当町で二億八千万立方メートル、由比町で一億立方メートルと推定。山全体が砂利とシルト層（粘土層）におおわれ、陸性の砂利のため骨材には最適。しかし、このような地層が水の流出量を自然に調整しているため、無計画な採掘は鉄砲水や山津波を招きかねない。また、採掘に伴う水質の汚濁は浮遊物質（SS）や鉄分の増加により飲料水に

は不適と推定。水脈の破壊や水量の減少により、まず、山間部落では飲料水、農業用水の供給が困難になると報告している。

また、開発が進めば水道用水を使用している地域の水源は枯渇や汚濁により、なくなってしまうので高度な技術の採掘が最小限必要であると指摘しています。

地元四十八世帯の面接調査の結果、ほとんどの人が砂利採掘に不安を感じており、とくに水源の枯渇、水害の発生、騒音、ほこり、交通などの災害を心配している。

町では、採掘が始まれば数十年に及ぶため、この調査資料を基に住民に災害をもたらす開発は一切認めない方針をとっています。

## 富士川富沢線、終日駐禁

## 交通規制審議会が答申

町交通規制審議会（中川国兵衛会長）は、児童、はじめ歩行者の保護を重点とした駐車禁止、速度制限など、新に交通規制するカ所の計画をたてて、県公安委員会に答申することを決めました。

当町最大の事故多発路線である県道富士川富沢線は、ダンパ道と化している松野地区の市街地の一部が、すでに時間駐禁と速度制限が実施されていますが、新に終日全面駐車禁止と、富士川橋から木島望月石油店前までの間が最高速度四十キロに制限されます。

このほかにも、次の路線が四月以後の早い時期に規制される見込【駐車禁止】

▽町道一号线（新町十字路—小池橋）▽富士宮由比線（逢来橋—北

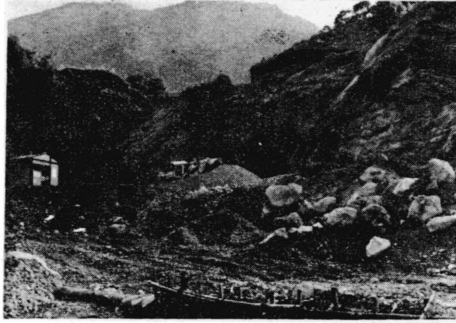
松野簡易水道）▽県道岩淵岩淵停車場線（八坂神社—清水銀行裏）▽谷津上町線（八坂神社—光栄寺）▽岩淵小池下線（丸十鉄工—蒲原町境）▽砂形富士川線（三差路—富士川堤防）▽県道富士川富沢線（時間制を終日に）▽東町線（東町会館—岩淵製紙）

【最高速度制限】

▽町道一号线（新町十字路—小池橋三十キロ）▽富士川富沢線（富士川橋—木島望月石油店四十キロ）▽富士宮由比線（逢来橋—北松野簡易水道四十キロ）▽県道岩淵岩淵停車場線（八坂神社—清水銀行裏四十キロ）▽谷津上町線（八坂神社—光栄寺四十キロ）▽富士川由比線（南松野バス停—稻荷橋三十キロ）▽東町線（東町会館—岩淵製紙三十キロ）

同地区から由比町にかけての丘陵地帯は、驚の田礫層とよばれ全国でも有数の山砂利の宝庫です。

すでに、昭和四十年ごろから十数社の業者が土地買収におしよせ、町の全面積の六割に当る約百七十万平方メートルが買い占められています。



東海企業が砂利採取している南松野の現地

このため、町と業者が協力して科学的に砂利埋蔵量を

ら百八十日以内）三十万円

③ケガをして医師の治療を受けたとき

治療期間6ヵ月以上 九万円

5ヵ月 七万五千円

4ヵ月 六万円

3ヵ月 四万五千円

2ヵ月 三万円

1ヵ月 二万円

1週間 一万円

1週間未満 五千円

## 外務職員募集

## 規格の郵便箱を

郵政省は、郵便受箱の標準規格品（家族名の記入できるもの）を一個七百元であつせんしていますのでご利用ください。

また、ただいま富士川郵便局では、郵政（外務）職員を募集しています。十八歳から四十歳までの男子で希望者は、詳細をTEL81-0001に問合せてください。

心配ごとは気がるに  
総合相談所を  
ご利用ください

- ・3月20日（休）
- ・9時半～3時
- ・老人福祉センター

# 郷土を知るために

## 貴重な資料が復刊

### 「郷土教育資料」

近年、郷土の自然を通じた人間教育が叫ばれているおり、今から四十三年前の昭和六年、当時の富士川尋常高等小学校（現、第一小学校）の先生たちにより刊行された旧富士川地区の「郷土教育資料」が、このほど、町文化財専門委員や役場職員の手で復刊しました。

郷土教育資料は、富士川尋常高等小学校（当時、高田利信校長）が昭和六年に、真の教育は郷土の自然や習慣の中にこそあるのではないかと、と二十数人の教諭と手わけして、丸一年の調査と執筆によりできあがったものです。

内容も豊富。田中光頭伯別荘（現、野間別荘）。東海道富士川橋開通式の模様など町主催の式典を調べあげた「郷土の輝（かがやき）」、多くの天災の記録や町の沿革などの「郷土史」。気象や動

植物までをつづった「地理、自然」町に流れる河川や流域の歴史を調べた「富士川の記」「郷土の行政と社会事業」「郷土の教育」「住民と人口統計」。町内の社

寺、宗教。当時の兵事、警備の状況。まゆの生産、電灯と電力、鉄道の開通状況など「産業、経済、交通」「郷土の人物

詩」。水鳥の羽音についてなど「伝説」。小字の地名研究、町の方言などあらゆる郷土の自然、社会科学が網羅されています。

当時教育者の間に、郷土を見直し、自然を通じた学校教育をという機運が高まって、どの学校でも同様の資料集が作成されたといわれていましたが、同小の一年がかりで、ガリ版刷りB5版、六百五十ページに

のぼるほう大な資料集は珍しく、その内容や熱意は評判になったほどといわれています。

発刊から約五十年も過ぎた今日この貴重な資料は町内でもほんのわずかしが残っておらず、そこで上町の斉藤歳雄さんが保存しているのを知った町文化財専門委員の甘露寺雄次郎さんたちが復刊を思いたち、数人の役場職員らに協力をもとめて、甘露寺さん自ら筆写したものをガリバン刷して製本し原本とどりの資料集を復刻しました。

文化財としても貴重なもので大正、昭和初期の町の様子を伝える唯一無二の資料として、関係者からも復刊が喜ばれています。復刻された二百部のうち、約百



復刊した郷土教育資料

五十部を希望者に一部二千元で配布しています。

「近年、生が教育が叫ばれている折、郷土をよく知る、ということが人間性の回復、確立の原点であると思われます。この意味でも、先人が築いてきたことが克明に網羅されている「郷土教育資料」が復刊されたことは、子どもが郷土を知るためにも有意義なものである」と第一小学校友田教頭先生は語っていました。

### 中学女子シングルス

#### 望月千春さん二連勝

町民の体力づくりの一環として卓球愛好者による町民卓球大会（体協主催）は、二月二十日、町立体育館で開かれました。

大会には、町民や町内に勤務する人たちが約百五十人が参加。団体戦や個人戦など八種目に熱戦を繰り広げました。各種目の優勝は次のとおりです。

「各区対抗」東町・日の出町チーム「事業所対抗」本州製紙Aチーム「一般男子シングルス」関原輝雄（宮町）「一般女子シングルス」和田武子（本州製紙）「シニアシングルス」福島昭次（本州製紙）「中学女子シングルス」望月千春（一中）「一般ダブルス」佐々木一屋部組（イハラケミカル）

### 児童 四月から 手当 四月から

#### 受給者範囲が拡大

三人以上の児童を養育している人に手当を支給している、児童手当制度は、支給対象者の範囲が四月一日から広くなります

これまで、三人以上の児童のうち、昭和四十八年四月一日現在で十歳未満の児童がいることが必要でしたが、今年の四月からはその範囲が広がって、三人以上の児童のうち、義務教育終了前の児童（中学校卒業するまでの児童）がいれば支給されることになりました。

支給額は、三人以上の子ども一人につき月額三千円です。町内には、現在二百七十人の養育者が支給を受けています。

町は、あらかじめ今度の措置により、新に支給対象者となる養育者約五十人に通知して、認定請求書を提出するよう指導しています。

支給対象者になる人で通知のなかった人は、役場住民課へお尋ねください。

すでに受けている人で、十八歳未満の児童を四人以上養育していて、三人目以後の児童が義務教育終了前のは、増加支給の請求ができる場合があります。



## 星の 43 太田和子



大きく力強い字を書こう、と宇多利児童館主催の第四回こども書道大会が二月十一日、第一小学校体育館で開かれました。

大会は、町内の小学校から三年生以上の男女約二百五十人が参加し、体育館いっぱいに広がって三年生「あそび」四年生「たこあげ」五年生「竹馬のり」六年生「羽根つき」、と正月にちなんだ題材を、こどもたちは真剣に筆を走らせて書きあげました。

作品は、町公民館長らが審査、館長賞、銀賞、銅賞をそれぞれ決めて表彰しました。

なお、優秀な作品は二月十八日から同児童館に展示されています。

## 正月にちなんだ題材で

## こども書道大会



一小体育館でのこども書道大会

新聞、テレビ、雑誌に「自然」という言葉の多さ、そして「〇〇公害」の言葉も耳にするこの頃だ。自然で単純な生活にもどらねばならぬ。自然を軽視することは、自然の一部である人間を破壊することになる……新聞の「天声人語」でみた言葉だ。

## 通信員たより

子ども頃、切株が残って薄氷が張ったり、霜柱のザクザクする田んぼでたこあげをしたり。ほたるを夜の川辺に追いまわしたり。石をひっくり返しながら、ズボンもシャツも水びたしで「ずがに」をつかまえたりした七、八年前は、我々の回りの

新聞、テレビ、雑誌に「自然」という言葉の多さ、そして「〇〇公害」の言葉も耳にするこの頃だ。自然で単純な生活にもどらねばならぬ。自然を軽視することは、自然の一部である人間を破壊することになる……新聞の「天声人語」でみた言葉だ。

に自然が一杯であった。今まで咲かなかった梅が今年

は蕾をもった。

二月詠草

天野 寛選

## 富士川短歌会

二月詠草

天野 寛選

亡き夫と農に励みし畠なりき霜の朝にひとり歎ふる

吉田 令子

かがまりし腰をのばして吾が首にマフラーかけくるる母は老いにし

萩野 敏音

山道に高く積まれし蜜柑の木切り口新し炭焼くらしも

山田たか子

動噴の故障悲しも消毒を初めぬまに時は過ぎ行く

植松 法子

短歌会に議論のたえし時の間をわが背の子の寝息きこゆる

若月 幸江

ありし日に母の植えたる寒椿風荒ぶ庭に今盛りなり

長谷川ゆり子

冬山の落葉が中のしい実芽ふきて土に白き根をもつ

角替千鶴子

ひさびさの雨止みて背戸の玉葱は並び立ちたり冬の日にさしに

佐野 芳江

亡き祖父の特に好みし寒椿半ば開くを待ちて供えぬ

田村 タカ

零下二十度吹雪の中のユートピアリフト握るに息絶えむとす

49  
・  
1  
・  
20  
} 2  
・  
19  
(敬称略)

区名 出生児 保護者 続柄

区名	木島	小山	室野	上町	〃	〃	〃	〃	相生町	〃	〃	堺町	〃
出生児	平野 直子	植松 洋明	望月 研造	増田 哲也	長沢 健一	長沢 康二	桐谷 昌希	植松 美保	寺下 哲史	柳下 優人	千頭和小牧	若月 憲真	
保護者	邦彦	偉男	鉄郎	忠夫	平	平	収一	安広	生夫	寿万	恒行	真佐美	
続病	長女	長男	〃	〃	〃	二男	〃	長女	二男	〃	二女	長男	

大北町	盤下町	清水町	八幡町	〃	〃	富士見町	〃	南町	東町一	〃	〃	〃	幸町	宮町	〃	四十九	〃	川坂
安藤	蓮池	宇佐美敦規	望月一弘	林美春	稻葉昭人	佐野和代	望月幸洋	清水里江	望月正洋	和田友樹	原田滿衣子	綿引周子	虎屋佳代	斎藤達哉	渡辺忍	牧野弘宣	安藤純子	安藤朋子
由香	弥生	三重生	久吉	幸一	泰広	昌明	良雄	銑次	茂樹	勇	満寿吉	政人	静男	嘉紀	旭	静雄	睦男	睦男
宗一	二女	長女	〃	二女	二男	長女	二男	二女	〃	二男	〃	〃	長女	三男	〃	長男	二女	長女

## 区

区名	新郎	新婦	旧
相生町	浜村 昇	巳代子	大
旭町	増田時光	実千代	増
川坂	西村 強	えみ子	若
四十九	益木 賢	京子	井
南町	上野直記	万里	望
〃	望月 徹	澄子	松
富士見町	水野辰英	恵里子	小
八幡町	佐野章治	みな美	仲
清水町	深沢 聖	明子	細
大北町	松下寿男	三枝子	佐
〃	小林和則	幸枝	早
〃	杉原和男	悦子	櫻

おしあわせに

区名	氏名	転出先
上町	渡辺 千春	富士市
〃	太田 康江	〃

## 区

上町 渡辺 千春 富士市  
太田 康江

5日 火 まきの木教室開講式  
午前9～センター

7日 木 栄養学級 午後1～二中  
所得税の相談 午前9～商工会

8日 金 栄養学級 午後1～一小  
所得税の相談 午前9～商工会

9日 土 定例議会 午前9～役場

12日 火 住民税の相談（中之郷地区）  
午前9～役場  
書道（文協）午前1：30～センター

13日 水 三種混合（一期）  
午後1：30～いこいの家  
住民税の相談（木島・岩淵地区）  
午前9～役場

14日 木 住民税の相談  
午前9～いこいの家

15日 金 三種混合（一期）  
午前1：30～センター

17日 日 聖観音大画像展（新豊院）

20日 水 人権総合相談 } 午前9：30～  
民協定例会 } センター  
三種混合（二期）  
午後1：30～いこいの家

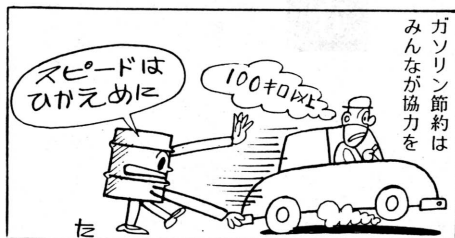
21日 木 春分の日

22日 金 青年学級 午後7～センター  
三種混合（二期）  
午後1：30～センター

24日 日 町民ソフトボール大会  
午前8～一小・一中

29日 金 自衛隊浜松基地見学（協力会・郷友会）午前7：30～町立体育館前

（所得税の確定申告は3月15日までです）  
（春の交通安全運動4月6日～15日）



## 区

區名	氏名	年齡
木島	斎藤 竹蔵	六五
上町	望月 蒼次郎	七九
坂下	植松 ナツ	九〇
相生町	望月 てる	七三
ク	斎藤 初江	六六
旭町	斎藤 ふで	七四
幸町	志田 しげ	七二
本通四	高橋 恒嘉	四三
盡下町	和泉 なか	八五

町立本育館より、主己の週刊表へ

鑑町立体育館は、左記の週割表で町民の皆さんに利用されております。あなたも余暇時間を体力づくりに「グループ」または「個人」でご利用ください。

土	金	木	水	火	月	日	曜日
18 21	19 21	18 21	19 20 21	18 21		19 20 21	9 10 12
卓球練習	剣道教室 一般バレーボール練習	卓球教室 剣道教室	婦人バレーボール練習 婦人健康体操	バスケットボールまたはバドミントン練習	休館日	予備(大会及講習会) 婦人健康体操	種目

日曜日をご各々のレクリエーション大会等にご利用ください。  
 日曜日ミントンの練習を日曜午前中、および火曜日に行なっています、愛好者は参加してください。  
 町民ソフトボール大会  
 三月二十四日(日) 午前八時から一、一中グラウンドで開催。  
 町立体育館使用申込み、またはお問い合わせは、役場内教育委員会(社会体育係)へ